

令和8年熊本地震

八代市
復旧・復興プラン（素案）

令和8年 月

八代市

目次

第1章 はじめに 1

- 1. プラン策定の目的 2
- 2. プランの対象地域 2
- 3. プランの期間 3
- 4. プランの推進体制 3

第3章 プランの基本的な考え方 7

- 1. プランの基本理念 8
- 2. プランの基本目標 9
- 3. プランの体系 10

第2章 八代市の被害状況 4

- 1. 令和8年熊本地震の概要 5
- 2. 被害の状況 6

第4章 復旧・復興に向けた取組 11

- プラン項目 12
- 1. 基本目標1 住まいと暮らしの再建
- 2. 基本目標2 社会基盤の早期復旧・強靱化
- 3. 基本目標3 地域産業・経済の再生
- 4. 基本目標4 防災・減災への体制強化

第1章

はじめに

1. プラン策定の目的
2. プランの対象地域
3. プランの期間
4. プランの推進体制

1. プラン策定の目的

令和8年7月28日に発生した「令和8年熊本地震」では、本市において震度6強を観測し、20名の尊い命が失われるとともに、多くの住家に被害を受けました。また、生活関連インフラ、医療・福祉・教育施設、農林水産業基盤、商工業・観光施設及び文化財等も被災し、市民生活や地域経済に深刻な影響を及ぼしました。

本プランは、被災された方々が一日も早く日常を取り戻すことを最優先に、地域活力の再生と将来にわたり安全・安心に暮らせるまちづくりに向け、復旧・復興を着実に進めることを目的として策定しました。

プランでは、復興に向けた基本理念を定めるとともに、今後取り組むべき施策を体系的に整理し、具体的な取組とともに、復旧・復興に向けた「ロードマップ（道筋）」を示しています。

なお、復旧・復興の取組を進める中で生じる新たな課題や被災された皆様のニーズに応じて、取組の追加や見直しを図っていきます。

2. プランの対象地域

対象地域

八代市全域

市内全域に被害が及んでおり、復旧・復興に向けた取組を市全体で進める必要があるため、対象地域は八代市全域とします。

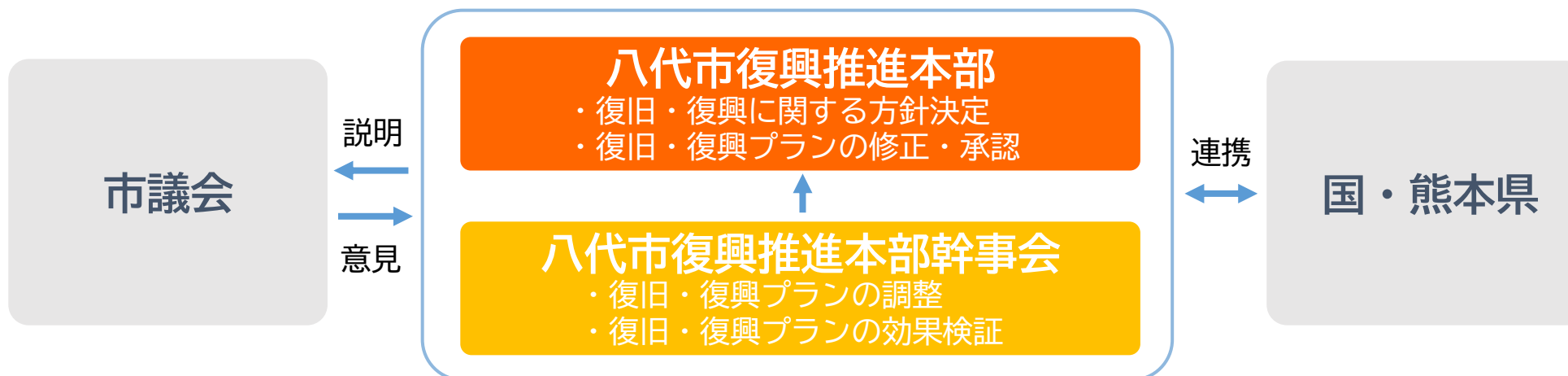
3. プランの期間

令和8（2026）年度を初年度とし、概ね10カ年の全体計画として、短期（3年）、中期（6年）、長期（10年）の取組により復旧・復興を進めます。



4. プランの推進体制

「八代市復興推進本部」及び「八代市復興推進本部幹事会」において、全庁横断的に計画策定の協議と策定後の進捗管理を行います。



第2章

八代市の被害状況

1. 令和8年熊本地震の概要
2. 被害の状況

1. 令和8年熊本地震の概要

令和8年7月28日16時27分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、宇城市及び氷川町で最大震度7を観測したほか、本市においても震度6強を観測しました。以降、八代市内において震度1以上の地震が10月19日時点で428回発生しています。

地震の概要(全体)			
発生日時	令和8年7月28日 16時27分	発生場所	熊本県熊本地方 深さ16km（暫定値）
マグニチュード	7.1（暫定値）	最大震度	震度7【熊本県宇城市・氷川町】
地震活動の状況 ※10月19日現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が860回発生 （震度7：1回、震度5弱：5回 震度4：25回 震度3：76回 震度2：208回 震度1：545回）		
長周期地震動の観測状況	熊本県熊本で長周期地震動階級4を観測		
本市の状況			
震度	最大震度6強		
職員配備体制	令和8年7月28日 16時27分～	非常配備体制（第3配備）	
避難情報	令和8年7月28日18時00分 ～ 8月18日18時00分	[八代市全域] [八代市全域]	避難指示 避難指示解除 ※発令期間：22日間
避難所開設状況 ※10月19日現在	自主避難所・地震避難所：合計13か所 避難者数：593名 最大避難所開設数：63か所（7月30日） 最大避難者数：4,095名（7月31日）		
地震活動の状況 ※10月19日現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が428回発生 （震度6強：1回、震度5弱：2回 震度4：9回 震度3：29回 震度2：107回 震度1：280回）		

2. 被害の状況

(令和8年10月19日現在)

人的被害は、死亡された20名を含め計〇〇名、住家被害は全壊1,227件、大規模半壊186件など計20,933件で、広範囲にわたり電気やガス、上水道、井戸等のライフラインにも被害が及びました。

被害額は、商工業266億円、農林水産業606億円、公共土木施設等75億円、文化財306億円など、総額1,347億円となっています。

本市の被害状況

人的被害	死者：20名（うち災害関連死者：調査中） 重症者：調査中 中等症者：調査中 軽症者：調査中 行方不明者：調査中
住家被害	(り災証明発行件数) 全壊：1,227件 大規模半壊：186件 中規模半壊：469件 半壊：1,313件 準半壊：2,108件 一部損壊：15,630件 計 20,933件
ライフライン被害 【最大時】	電気：13,950戸（7月31日復旧） ガス：8,827戸（8月14日復旧） 上水道：25,136戸（8月26日復旧） 井戸：約4,400戸（復旧支援継続中）
被害額	被害総額 1,347億円 商工業：266億円 農林水産業：606億円 公共土木施設等：75億円 文化財：306億円 ほか

第3章

プランの 基本的な考え方

1. プランの基本理念
2. プランの基本目標
3. プランの体系

1. プランの基本理念

歴史を継ぎ 未来につなぐ 強くしなやかな八代へ

令和8年熊本地震では、かけがえのない多くの命が失われるとともに、市民生活や地域経済、社会基盤、そして八代城跡や松浜軒などの貴重な文化財にも甚大な被害をもたらし、八代妙見祭や全国花火競技大会といった歴史ある祭りやイベントにも大きな影響を及ぼしました。

地域の方々が守り継いできた暮らしやなりわい、コミュニティの一日も早い再建を図り、先人から受け継いだ歴史や文化を確実に継承することで、「八代の誇り」や「八代の宝」を未来へつないでいきます。

また、再度災害に対する備えとして、今回の経験と教訓を生かし、将来被災した場合でも被害を最小限に抑え、機能の低下を防ぎながら、迅速に復旧・復興できる「強く」そして「しなやかな」まちの実現を目指します。

2. プランの基本目標

基本目標1

住まいと暮らしの再建

住宅や井戸などの損壊により、多くの方の日常生活に大きな影響が生じました。住まいや生活用水の確保、災害廃棄物の処理や損壊家屋の解体、住宅の再建など、生活再建に向けた様々な取組が必要です。

また、避難生活の長期化に伴う避難者の心身のケア、高齢者や障がい者など要配慮者への支援、社会福祉施設や医療機関の機能回復も求められています。

被災された方々が一日も早く日常の生活を取り戻せるよう、住まいの確保や井戸の復旧をはじめとした生活再建への支援を進めるとともに、保健・医療・福祉機能の回復を図り、誰もが安心して暮らし続けられる生活基盤の再建に取り組みます。

基本目標2

社会基盤の早期復旧・強靱化

道路や橋梁、上下水道などのインフラ、庁舎や学校施設、コミュニティセンターなどの公共施設が広範囲で被害を受けました。また、本市の魅力や地域のアイデンティティを支える博物館や文化財などにも大きな被害をもたらしました。

現在、インフラや公共施設については、応急復旧工事により対応しており、今後本格的な復旧工事が始まることから、被災前の状態を取り戻すまでには、長い期間を要することが見込まれます。

道路・橋梁や上下水道などのインフラ、公共施設の早期復旧と再度災害に備えた強靱化を図るとともに、八代城跡や松浜軒などの文化財を復旧し引き継ぐことで、安全で魅力あるまちづくりに取り組みます。

基本目標3

地域産業・経済の再生

商工業、観光業、農林水産業など幅広い分野において被害を受け、事業活動や雇用などの地域経済に大きな影響が生じました。

また、市街地や観光地などの被災による地域活力の低下や、多くの文化施設等の被災による観光客・交流人口の減少に加え、坂本・東陽・泉などの中山間地域においても風評被害等による観光客の低下も懸念されているところです。

商工業、観光産業、農林水産業の再建と事業継続を支援し、雇用の維持・確保や交流人口の回復を図るとともに、復興のシンボルとなるまちづくりを進めることで、活力とにぎわいの再生に取り組みます。

基本目標4

防災・減災への体制強化

再度の災害に備えるため、今回の地震への対応を検証し、避難者支援体制や自主防災組織等の活動強化、防災情報を確実に伝達する仕組みの整備を進めるとともに、備蓄物資の確保や災害対策本部の機能強化を図り、地域と行政が連携して迅速かつ的確に災害へ対応できる体制づくりに取り組みます。

3. プランの体系



第4章

復旧・復興に 向けた取組

1. 基本目標1 住まいと暮らしの再建
2. 基本目標2 社会基盤の早期復旧・強靱化
3. 基本目標3 地域産業・経済の再生
4. 基本目標4 防災・減災への体制強化

プラン項目 (基本目標・施策・具体的な取組)

基本目標 1 住まいと暮らしの再建

1-1 住まいの再建・確保

- No. 1 応急的な住まいの確保と再建支援
- No. 2 災害廃棄物の処理と損壊家屋の解体による被災者支援
- No. 3 安全・安心な「住まい」の確保

1-2 被災者の生活再建支援

- No. 4 被災者の生活用水の確保
- No. 5 各種支援制度による生活再建支援
- No. 6 災害ボランティアセンターによる被災者支援
- No. 7 地域支え合いセンターによる被災者の生活再建に向けた支援
- No. 8 被災した子どもと学校を支える体制の確保
- No. 9 外国人市民に対する情報伝達の充実
- No. 10 復旧・復興の段階に応じた積極的な情報発信

1-3 保健・医療・福祉機能の回復

- No. 11 社会福祉施設・医療機関等の復旧支援
- No. 12 要配慮者等への健康支援及び生活支援

基本目標 2 社会基盤の早期復旧・強靱化

2-1 インフラの復旧・強靱化

- No. 13 上水道の早期復旧と強靱化
- No. 14 下水道の早期復旧と強靱化
- No. 15 公共土木施設の早期復旧と強靱化

2-2 公共施設の復旧・行政機能の強化

- No. 16 本庁舎・支所庁舎の早期復旧
- No. 17 市民の地域活動拠点施設の早期復旧
- No. 18 安全・安心な学校施設環境の回復
- No. 19 一般廃棄物処理施設の早期復旧
- No. 20 復旧・復興に必要な職員体制の最適化

2-3 歴史・文化資源の復旧と継承

- No. 21 文化施設の機能復旧・強化
- No. 22 文化財等の復旧

基本目標 3 地域産業・経済の再生

3-1 商工業の再建・事業継続

- No. 23 被災事業者の事業再建に向けた支援
- No. 24 市街地（本町アーケード街・鏡町等）の復興再生
- No. 25 八代港の復興と競争力強化

3-2 観光産業・交流の復旧・復興

- No. 26 観光産業の早期復旧・復興
- No. 27 日奈久温泉街の復興再生
- No. 28 クルーズ船の受入再開とみなとオアシス八代の魅力向上
- No. 29 スポーツ施設の復旧及びスポーツ振興

3-3 農林水産業の復旧・再建

- No. 30 被災農業者への早期営農再開支援
- No. 31 農地・農業用施設の早期復旧
- No. 32 水産業施設の復旧

基本目標 4 防災・減災への体制強化

4-1 地域防災力の強化

- No. 33 被災した消防団施設及び消防水利の復旧
- No. 34 防災意識の向上と防災活動の推進
- No. 35 防災情報伝達の充実・強化

4-2 災害対応体制の強化

- No. 36 備蓄物資等の整備
- No. 37 災害対策本部機能の強化
- No. 38 避難生活環境の向上と避難者支援体制の充実